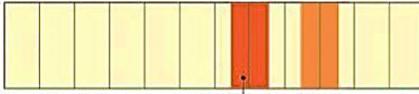


ハチに刺されないために

蜂の攻撃性が高まる季節

赤・オレンジが攻撃性的高まる時期

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月



被害のピーク



秋遅くまで
営巣活動が続く



一年中危険



アシナガバチ



スズメバチ



ミツバチ

夏場に留意すべきものにハチ刺されがあります。刺すハチの中で怖いのはスズメバチとアシナガバチです。特にスズメバチは攻撃性も強く、刺された場合危険な状態に陥ることもあり、注意が必要です。

<症状>

局所症状

刺されたところを中心(大きく赤い腫れ、痛痒いなど)にその周りに症状が出る

全身症状

息苦しさ、物を飲み込めない、声がしわがれて全身の力が抜け意識が遠のくなど

蜂さされ



※もっともひどい全身症状にはアナフィラキシーショックがあります。

迷わず救急車を呼びましょう。



＊作用前にハチの巣やハチの有無を確認する。

ハチ刺されがおりやすい作業について事前に洗い出しをして、リスクアセスメントを実施してみましょう。

＊黒髪や衣服が黒いもの、黒い長靴などは避ける。

作業時は、なるべく肌を出さない。

＊ヘアスプレーやヘアトニック、香水などの化粧品は使用しない。

＊ジュースは避ける。

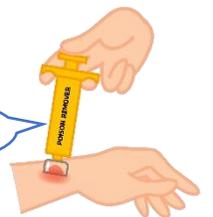
※ジュースや飲料水を飲んでいるときに近寄ってきて缶の中にもぐりこみ、口を刺されることがあります。



ハチに刺されたら・・・



ポイズンリムーバー



①刺された現場から離れ、速やかに毒を吸い出す効果がある道具(ポイズンリムーバーなど)で毒を絞り出す。

②患部を冷水で冷やす(毒のまわりを遅くするため)



③周りの人は車を用意する。



④刺された人をそ〜っと車に乗せて病院を受診させる。(担架や車いすで運ぶ)



⑤病院を受診する。

工場の出荷口や工場周囲の草取りなどの仕事に限らず、プライベートでレジャーにいかれるときも注意して、蜂に刺されないようにしましょう。

